

## 専門委員会セミナー開催のご案内

### CT セミナー

(CT 専門委員会)

大腸がんは罹患率が増加傾向にあり、早期発見・適切な治療への実用性が高まっております。第73回日本放射線技術学会北海道支部春季大会シンポジウムにおいても本テーマを取り上げ、大腸がん診断に関係する様々なモダリティでの現状、役割について理解が深まったと感じております。近年、大腸に対する検査は様々なある中でも、大腸CT (CT-Colonography : CTC) はいくつかの Randomized controlled trial にて 10 mm 以上の大腸腫瘍の診断能において内視鏡検査に劣らないことが証明され、一般的な CT 検査となりました。本検査では前処置、検査方法、画像作成を適切に行なうが必要があり、また検査後の1次読影についても我々診療放射線技師に期待されております。そこで、大腸CT検査の「いろは」と題して、シンポジウムにて語り尽くせなかったさらに深い内容まで踏み込んで解説したいと思います。日頃の疑問について少しでも理解を深められたらと考えております。現在行なっている施設の方、これらか行なうかもしれない施設の方、行なっていない施設方も、是非奮ってご参加ください。共に理解を深めましょう！！

日 時：平成 29 年 11 月 18 日(土曜日) 13 : 00~14 : 30

場 所：第一会場（講堂）1 階

「これでダイチョウブ（大丈夫）！大腸CT！」

座 長：板谷 春佑（手稲溪仁会病院）、小倉 圭史（札幌医科大学附属病院）

演 者：スクリーニング：高林 健（北海道消化器科病院）

手術シミュレーション：津元 崇弘（JA 北海道厚生連 札幌厚生病院）

### 医療情報セミナー

(医療情報専門委員会)

電子カルテやオーダエントリシステムを運用している病院が多くなっていますが、放射線部門に検査オーダが到着するまでの情報の流れ、検査後の実施情報の流れて知っていますか？ 情報連携の仕組みの概要を知っていると、他システムとの新たな情報連携、診療報酬の請求漏れ防止などに役立ちます。本セミナーでは、医事会計システム、電子カルテ・オーダエントリシステム、放射線部門システムのなかでの情報連携について、実際の画面イメージを示しながら説明します。さらに本セミナーでは、紙伝票で運用されていた頃から、高度に情報化された現在に至るまでの電子化の歴史についても解説し、RIS を中心とした情報化の本質を探ります。初心者からシステム担当者、部門長クラスの方まで、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 29 年 11 月 18 日(土曜日) 16 : 50-17 : 50

場 所：第一会場（講堂）1 階

テーマ：「RIS を中心とした情報の流れと情報化の歴史」

座 長：谷川 琢海（北海道科学大学）

演 者：鈴木 達也（旭川医科大学病院）、安渡 大輔（北海道大学病院）、

原田 耕平（札幌医科大学医学部附属病院）

## 整形外科セミナー

(整形外科専門委員会)

日々の検査を行っていく上で、検査の必要性や妥当性を考えることはないでしょうか。本セミナーでは、これまでの画像検査に対する考え方の方向性を少しだけ変え論理的に検査を考えてみようということで開催しております。本セミナーは、部位ごとに代表的な疾患の受傷機序などから画像検査に至るまでの流れを整理することで、主訴などから必要な画像検査をスムーズに展開できる検査技術の醸成を目指し、検査の選択や検査時の注意事項、画像所見などの要点を整理します。2016年春季大会セミナーでは膝関節、秋季大会セミナーでは上肢、2017年春季大会では足部・足関節を取り上げました。今回は、これまでの内容をおさらいした後、脊椎・骨盤、股関節に焦点を当てて行いこのシリーズを一旦終了したいと思います。皆様と活発な議論ができればと考えております。多数のご参加をお待ちしております。

テーマ：「受傷機序から考える画像検査4 脊椎・骨盤、股関節」

日時：平成29年11月18日(土曜日) 13:00~14:30

場所：第二会場(臨床第一講義室)2階

座長：谷 祐児(旭川医科大学)

演者：山口 大樹(我汝会えにわ病院) 鈴木 要(勤医協苫小牧病院)

谷 祐児(旭川医科大学)

## 核医学セミナー(フレッシューズセミナー)

(核医学専門委員会)

核医学セミナーでは、新人やローテーションで核医学検査を担当される方々へ向けた内容、そして、既に核医学検査を担当されている方々の再確認の場として、フレッシューズセミナーを開催いたします。今回は、核医学領域における内用療法をテーマにしております。国内初のアルファ線放出核種である $^{223}\text{Ra}$ による治療が始まり、北海道内でも採用施設が増えてきている状況です。また、 $^{89}\text{Sr}$ による骨転移の疼痛緩和や悪性リンパ腫に対する $^{90}\text{Y}$ を用いた治療などが従来から行われており、検査以外でも放射線技師が携わる業務が増えてきております。

核医学内用療法について説明させていただき、今後導入予定の施設や既に導入済みの施設においても業務の一助となれば幸いです。

日時：平成29年11月18日(土曜日) 16:50~17:50

場所：第二会場(臨床第一講義室)2階

テーマ：「核医学内用療法について」

座長：前田 佑介(北海道循環器病院)

演者：浅沼 治(札幌医科大学附属病院)

## 放射線治療セミナー

(放射線治療専門委員会)

今年も昨年に引き続き放射線治療セミナーの開催となります。当セミナーは、基礎的な内容から最新情報も取り入れた内容を考え、皆様のこんなときどうしよう…を少しでも解決できるようなセミナー開催を実施してきました。今回は第2弾、昨年の始業前点検(Daily QA)に続いて定期的に行われている毎月・毎年点検(Monthly QA・Annual QA)について、概要と3施設の実際のQAを例に解説していきたいと思っています。Monthly QA・Annual QAにおいて、実際の内容をどうしているのか、今まで、誰にも聞くことができずにモヤモヤしていたことを少しでも解決できればよろしいかと思っています。当日は、質疑応答の時間に余裕を持たせていますので、日頃の悩みを解消して頂ければ有難いです。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 29 年 11 月 18 日(土曜日) 13:00~14:30

場 所：第三会場(看護部研修室)地下1階

テーマ：“こんなときどうする”——毎月・毎年点検(Monthly QA・Annual QA)——

座 長：星野 充英(北腎会 脳神経・放射線科クリニック)

演 者：齋藤 優一(北海道がんセンター) 佐々木 文博(手稲溪仁会病院)

阿部 匡史(KKR 札幌医療センター) 溝延 数房(札幌医科大学附属病院)

## 乳房画像セミナー

(乳房画像専門委員会)

当専門委員会では、大変狭い臨床領域ながらも、報道をはじめ、話題の多い乳房画像についての情報交流の場を繋げております。昨年の秋季大会では、検診におけるマンモグラフィと超音波検査の総合判定について、そして、今年の春季大会では、プレストトモシンセシスについて開催いたしました。そこで、今年度の秋季大会では、“乳腺 エコ・トモ の実際”と題して、乳腺エコーとトモシンセシスの実際について、セミナーを開催いたします。研究活動をされている学生さんから、臨床現場で実際に検査されている方々まで、ぜひご参加ください。

日 時：平成 29 年 11 月 19 日(日曜日) 11:10~12:40

場 所：第二会場(臨床第一講義室)2階

テーマ：「乳腺エコ・トモ の実際」

座 長：阿部 裕子(KKR 札幌医療センター)

演題①：乳腺エコーの実際～Bモードから血流・硬さまで～

佐藤 恵美(北海道大学病院)

演題②：トモシンセシスの実際～撮影技術と読影の落とし穴～

堀田 浩(さっぽろ麻生乳腺甲状腺クリニック)

## MR セミナー

(MR 専門委員会)

多くの施設で検査毎のルーチン検査方法を設定しているところが多いと思います。検査頻度の少ない検査の場合、十分なプロトコルが整備されておらず、装置にプリセットされたプロトコルを使用して検査したり、「このシーケンスは必要なのか?」、「この撮像条件で問題ないのか?」など不安を抱くことはないでしょうか? 今回の MR セミナーは秋季大会 MR セミナーの定番となりました、「明日●●の検査入ってる…どう検査する?」第3弾を開催いたします。今回は普段小児専門病院以外では検査することが少ない「小児頭部」と、CT-Angiography での診断がメインとなり、検査頻度は低いが、ヨード造影剤アレルギーや腎機能低下等の理由で MR による診断が最後の砦となることもある「末梢血管」について解説したいと思います。初心者の方にわかりやすく、ベテランの方には復習と知識のアップデートとなる内容にしたいと考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成 29 年 11 月 19 日(日曜日) 11:10-12:40

場 所：第一会場(講堂) 1 階

テーマ：「明日●●の検査が入っている…どう検査する?」

座 長：中西 光広(札幌医科大学附属病院)、石坂 欣也(北海道大学病院)

演 者：①小児頭部 佃 幸一郎(NTT 東日本札幌病院)

②末梢血管 平井 寛能(国家公務員共済組合連合会 斗南病院)

## デジタル画像セミナー

(デジタル画像専門委員会)

現在、医療現場ではデジタル画像が主流であり、画像評価の際にはデジタル画像を取り扱うことの出来る解析ツールが必要となります。Viewer や撮影端末で解析を行うことが出来る場合もありますが、「ImageJ」というフリーソフトを使えば、かんたんに、しかも素早く、作業を終えることが出来ます。

本セミナーでは、ImageJ のインストール方法や基本動作、そして実際の解析作業の例をご紹介します。ImageJ を使ったことのない方や、これから画像解析を始めたいと思っている方は必見の初級セミナーですので、ぜひ気軽にご参加ください。

日 時：平成 29 年 11 月 19 日(日曜日) 9:30~10:30

場 所：第二会場(臨床第一講義室) 2 階

テーマ：「らくらく画像解析! ImageJ “超入門” セミナー」

座 長：川原 大典(NTT 東日本札幌病院)

演 者：牧野 佑也(JCHO 札幌北辰病院)

## 消化管&超音波セミナー

(消化管&超音波専門委員会)

2017年5月に「胃X線検診のための読影判定区分アトラス」が発刊され、対策型胃がん検診の現場で読影判定区分(カテゴリー分類)が利用されつつあります。しかしカテゴリー分類に関して十分に理解されている方はまだ少ないのではないのでしょうか?そこで本セミナー『整いました。カテゴリー分類』で、我々と共にカテゴリー分類について勉強してみませんか?まず基礎編では春季セミナーに引き続き、対策型・任意型検診におけるカテゴリー分類の概要、胃X線検査による胃炎・萎縮診断(背景粘膜診断)について典型症例を交えながらお話させていただきます。その後の実践編では、実際のX線検診画像に対してカテゴリー分類を行った結果から、カテゴリー分類の利点、注意点、課題等についてお話をさせていただきます。今回のセミナーは胃がんX線検診における“カテゴリー分類100%”となりますが、初学者の方も楽しめるセミナーにしたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：平成 29 年 11 月 19 日(日曜日) 9:30~11:00

場 所：第一会場(講堂)1階

テーマ：『整いました。カテゴリー分類』

座 長：中村 俊一(JA北海道厚生連 帯広厚生病院)

演 者：基礎編「対策型胃がん検診におけるカテゴリー分類の導入について ~part2~」

田内 慎一(医療法人溪仁会 溪仁会円山クリニック)

実践編「お試しカテゴリー分類」

松井 麻未(北海道対がん協会 札幌がん検診センター)